

明日の山口大学ビジョン 2030

～知の創造としなやかな人材の育成により地域に・世界に貢献する山口大学～

本学は、目まぐるしく変化する世の中にしなやかに対応し、時代のニーズに合った人材育成、研究、社会貢献を通じて、地域や世界に貢献するため、日々歩みを進めています。

2023年には谷澤学長体制の下で、「明日の山口大学ビジョン2030」(以下、ビジョン)を策定し、本学が2030年にあるべき姿・ありたい姿を示すとともに、その実現に向けた戦略及び施策を提示しました。ビジョンでは、中心的目標を〈知の創造としなやかな人材の育成により地域に・世界に貢献する山口大学〉と定め、各種施策を通じて、地域に根ざし、時代に合った人材育成および知の発信を行っています。



明日の山口大学
ビジョン 2030
策定者
谷澤 幸生 学長

知の創造としなやかな人材の育成により地域に・世界に貢献する山口大学



ビジョンの内容を分かりやすく伝えるために、国際総合科学部公認デザインサークルSIGNALの学生が、ビジョンのイラストを作成しました。大学ホームページに掲載しています。ぜひご覧ください。

明日の山口大学ビジョン2030

URL https://www.yamaguchi-u.ac.jp/info/university_vision/



ビジョンの確実な実現に向けて

■ マイルストーンの設定と定期的な進捗確認

ビジョンの実現に向けて、3年ごと(2024年、2027年、2030年)に本学の目指す姿・ありたい姿を示すマイルストーンを設定しています。

また、マイルストーンを設定した3年ごとの状況について、自己点検・評価を実施することで、ビジョンの確実な実現に向けて歩みを進めています。

ビジョンの実現に向けた取組と実績

■ 自己点検・評価結果を踏まえて

2025年には、第1回目の自己点検・評価を実施し、ビジョン策定時から2025年6月(自己点検・評価実施時期)までの状況を振り返り、現状の把握と今後進むべき道を確認しました。

ビジョンを構成する教育、研究、地域、ダイバーシティ及び経営の5つの領域について、いずれもその実現に向けて着実に歩みを進めています。

教育領域では、山口大学、山口県立大学、山口学芸大学の3つの大学が協力するSPARC教育プログラムにより「文系DX人材」育成を開始し、2025年4月に「ひと・まち未来共創学環」を新設しました。

研究領域では、「細胞デザイン医科学研究所」をはじめ、4拠点をトップダウン型産学公連携研究拠点に認定し、オープンイノベーションを加速しました。また、「山口大学グリーン社会推進研究会」を強化し、脱炭素と地域イノベーションへ貢献しています。

地域領域では、県内企業や卒業生等の情報を一括管理するシステムを構築し、企業等との連携に活用しています。また、山口市・宇部市と連携して、地域課題の解決に向けた継続的な協議を行っています。

ダイバーシティ領域では、女性・若手・外国人研究者の積極的な登用や、留学生の積極的な受入、学生協働の実施により、ダイバーシティキャンパスの実現に向けて歩みを進めています。一方で、多様な個性・価値観を尊重するため、支援体制の拡充等にも取り組んでいます。

経営領域では、地域ニーズを踏まえ、学部・研究科等の設置・改組を行い、地域・社会に必要なとされる人材育成を行う体制を作っています。さらに、学内のDXを推進し業務効率化を図るとともに、ワークライフバランスを重視した職場環境の実現を目指し、関係制度の整備・拡充等を行い、働きやすい職場環境の実現を進めています。

自己点検・評価結果の詳細は
本学ホームページよりご確認ください。

URL

https://www.yamaguchi-u.ac.jp/info/legal_public_information/jikotennkennyhoka-system/university-vision2030/

